

No. 86
2016.2.1

宇治田原町 議会だより



《目次》

- 12月定例会.....2.3P
- 臨時会.....4P
- 一般質問.....5P
- 研修報告.....15P
- インタビュー(牧野太一さん).....17P

定例会

総務産業常任委員会

個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

【問】町内企業のシステム改修状況について把握しているのか。

【答】工業団地管理組合の加盟企業のうち、約半数が完了・残りの半数においても年内及び年度内に対応される。

【問】町独自事務について庁内で何らかの通知を行っているのか。
【答】法的な根拠等について説明を行い、マイナンバーの独自利用項目の洗い出しを内部的に進めている。
(可決・賛成多数)

非常勤職員の公務災害補償条例改正

(可決・全員賛成)

消防団員等公務災害補償条例改正

(可決・全員賛成)

税条例等の一部を改正する条例

(可決・全員賛成)

【問】猶予制度について、自治体独自の制度運用があるのか。

【答】近年では福知山市が災害時に適用を行ったのみである。他市町村は、分割納付の民法上の規定を適用。
(可決・賛成多数)

土地の取得に ilişkin

【問】山手線の土地買収

の見込予定はどうか。

【答】禅定寺生産森林組合他19名の方々と折衝している。概ね了解をいただいているところである。
(可決・全員賛成)

京都地方税機構規約の変更

【問】「分担金の算出方法はどのようになるのか。

【答】滞納整理、法人税関係の負担割合を基本としている。人口割額は、税機構設立当時から負担の指標とされている。
(可決・賛成多数)

公共下水道根幹施設の建設工事委託に関する協定の一部変更

【問】26年度は、全額繰越している。平成27年度

下水道事業団への支払いの一部分の支出であり、工事費の支出は行っていない。
(可決・全員賛成)

【答】中間払で管理諸費

討論・反対

安本 修議員

◇個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例を制定

預貯金や検診の情報にまでマイナンバーの適用が法案化され、個人情報流出するリスクが高い。企業が負担する初期費用も膨大。関連する詐欺事件も多発しており、マイナンバーを廃止すべき。

◇税条例等の一部を改正する条例を制定

地方税の猶予制度や軽自動車税のグリーン化特例の導入など評価できる点もあるが、マイナンバー導入にかかわって、個人情報流出の不安が残る、廃止すべきである。

◇京都地方税機構規約の変更

税機構が進めている課税事務の共同化については、本来、市町村がやるべきものを形だけのものにし、納税者とのかわりが希薄になる。

「お茶の京都」交流拠点整備

平成27年第4回定例会は、12月7日から21日まで開催した。予算関係5件(補正予算5件)、条例関係4件(制定1件、改正3件)、一般議案3件が提出され、原案通り可決した。

一般質問には9人の議員がたち、全員が「一問一答」方式で活発な議論を展開した。

人事案件

●選挙管理委員及び補充員の選挙

(委員)

谷口昭弘氏(荒木)

大谷友一氏(南)

清水善宣氏(立川)

勝谷ミツ子氏(禅定寺)

(補充員)

安井正美氏(湯屋合)

上辻治男氏(奥山田)

光島善正氏(賛田)

茨木均氏(岩山)

任期

平成27年12月22日

平成31年12月21日

補正予算特別委員会

一般会計

【問】給与費明細の職員

手当の内訳において、管理職手当が144万円と大きい。

【答】本年4月1日の人事異動による課長及び課長補佐への昇格が大きな要因で、又、理事職についても月額5,000円のプラス改定を行ったことによる。

【問】「お茶の京都」交流拠点整備構想策定事業としてのマスタープランの完成目処は。

【答】3月末には完成するよう取り組む。

【問】マイナンバーに係る補正については。

【答】国の制度であるが、特別交付税で財源措置さ

れるものと、単独分のあることから京都府を通じ要望を行う。

国保会計

【問】赤字解消のために健全化計画の中間見直しを。

【答】要因として特殊性もあるが、広い角度から検討していく。

公共下水道事業特別会計

【問】今回の委託内容で、ユーティリティ調達電気代は。

【答】25年度から27年度の3カ年で約4,240万円見込んでいます。債務負担行為としての設定している電気代は、5,260万円、24%多く見込んでいるが、最終発注の段階で

正確な電力量を見込み発注する。

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	審議結果
一般会計	1,734万円	44億2,299万円	可決 全員賛成
国保会計	1億95万円	14億4,808万円	可決 全員賛成
介護保険会計	△194万円	8億3,279万円	可決 全員賛成
公共下水道事業特別会計	△6,090万円	8億691万円	可決 全員賛成
水道事業会計	収益的支出	21万円	可決 全員賛成
	資本的支出	7万円	

新教育委員会制度発足

臨時会

臨時会

平成27年第2回臨時会は、11月16・17日の両日に開催され、教育委員会教育長の任命及び、教育委員会委員の任命(人事関係)が審議され全会一致で同意した。

人事案件

○教育委員会教育長



増田千秋氏

任期

平成27年11月26日～

平成30年11月25日

【同意・全員賛成】

○教育委員会委員



田中典夫氏

任期

平成27年11月26日～

平成31年11月25日

【同意・全員賛成】

一般質問についての見解

地方議会は、執行機関(町)に対する監視機能を有することから、執行機関が行う地方公共団体の一般事務に関する質疑を行い、執行機関の見解などを求めることができ、これを「一般質問」と言います。そのような中、次のような運用をしています。

《回数制限》

宇治田原町議会会議規則におきましては、「質問者は、議長の定めた期間内に、議長にその要旨を文書で通告しなければならぬ」とされており、また質疑の回数についても「3回」と規定されているところです。

回数制限につきましても、議会の活性化と併せて協議を重ねてきておりますが、現在のところ、質疑3回が支障となっていないことが無く、今後も検証を行う中進めていくこととしております。

《通告制》

本町の一般質問は通告制でありますので、限られた時間において、正確な答弁を期する意味からも、発言通告書を議長に提出する必要がある、また通告書には質問要旨として、答弁のおおよその準備が出来るような内容を記載することとなっております

このような取り決めの中、一般質問を行っているところでもあります。

次回議会の予定

〈3月定例会〉

3月4日(金)開会日

詳しい予定はホームページにてお知らせします

一般質問

ズバリ! 町政を問う

12月10日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	質問事項
1	今西久美子	1. 来年度の予算編成、公約と施策は 2. 国民健康保険の健全化と滞納への対策 3. TPP、荒廃農地対策を
2	谷口 重和	1. 自家用車をタクシーに 2. 奥山田バイパスと山手線の関係は
3	垣内 秋弘	1. 予算編成の考え方と重点施策は 2. 地方創生、人口減少と子育て施策は 3. 農業施策、TPP の影響は 4. 新教育長の方針と教育行政の課題と対応は
4	稲石 義一	1. 予算編成方針は 2. 町診療所の再開と診療科目設置の展望は 3. 教育長の教育行政への基本的な考えは

	質問者	質問事項
5	山内実貴子	1. 子育て支援充実を 2. 介護予防・認知症対策の継続を 3. 18歳選挙権制度で投票環境向上を
6	青山 美義	1. お茶の京都への取り組み、今後は 2. 河川管理の現状と対策は
7	内田 文夫	1. 第5次まちづくり総合計画及び地方創生戦略 2. 義務教育学校設立へ、本町の学校教育と展望は
8	原田 周一	1. 観光計画のロードマップは
9	安本 修	1. 通学路の安全確保対策の進捗は

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場 2 階総務課で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>) をご覧いただくか、議会事務局 (☎ 88 - 6641) までお問い合わせください。

高校生通学費の全額補助を

【答】可能な限り支援していく



バス代の全額補助を



今西久美子
議員

荒廃農地対策の強化を

【答】担い手を確保し、関係機関と連携を図る

声はまだある。高校生通学費の全額補助を。

め、給食費、教材費の無料化を。

【答弁(町長)】

【答弁(教育長)】

今年度拡充した。事業の効果を検証し、可能な限り子育て世代の支援制度となるよう努める。

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者には支援を行っているが、無料化は難しい。

【質問】

保護者負担の軽減のため

ざすもの。支払い能力がある場合は滞納処分を科すことになる。

【質問】

町が住民の暮らしや営業のしんどさが見えにくくなっているのではないかと。いま自治体に求められているのは、住民の暮らしを守る総合行政。生活実態を聞き、親身に対応する相談・収納活動に転換すべき。

【質問】

国民健康保険税の滞納

うな体制になっていない。悪質なものだけ移管を。

「滞納」は親身な対応を 【答】住民目線で取り組む

【答弁(町長)】

納税者と第一に接するのは役場職員であること

分を京都地方税機構に移管しているが、税機構では生活を無視した「差し押さえ」が行われており、親身に相談にのるよ

【答弁(戸籍保険課長)】

り、親身に相談にのるよ

税機構は、共同化により効率性を高め、より一層の公平公正な納税を

層の公平公正な納税を

め

【質問】

荒廃農地問題は大きな課題。町としての対策は。

【答弁(産業振興課長)】

昨年発足した「農地中間管理」により、農地の貸借のあっせん・仲介を府単位まで拡大し、借り手の間口が広がる。今後、周知を図る。

【質問】

条件の悪い場所は借り手もつかない。市民農園や農園利用方式なども進めるべき。また学校給食に町内産米を使えないか。

【答弁(産業振興課長)】

市民農園や新規就農者の育成、農

美しい田園風景を守る取り組みを



美しい田園風景を守る取り組みを

自家用車をタクシーに

【答】交通システムの構築議論を進める

【質問】

公共交通空白地では、

検討し、実施に向け考えてみては。

【答弁（町長）】

必要不可欠であり構築に向け議論を早急に進めていく。

国交省の登録を受ければ、自治体による自家用車有償運送が認められている、特区認定を受け、自家用車ライドシェア（相乗り）構想を研究・

福祉バスとコミュニティバスの両システムを運用しているが、課題がある。誰もが利用しやすい交通システムの構築は



自家用車をタクシーに

奥山田バイパスと山手線の関係は

【答】奥山田の進捗を見ながら鋭意検討する

【質問】

奥山田地区において、

末と聞いている、現在実

平成20年9月から実施されている、栢村地区から大杉地内の307号線改良工事は平成24年度末完成であったが、平成27年度まで延期された。そして再度延期され平成28年度に、いったい何時、供

施中の鋼製栈橋施工や、今後山切工事の整備を図る予定で、慎重を期する中で遅れが生じた。早期完成に向け京都府に働きかけをしていく。

【質問】

奥山田地区の改良工

用開始になるのか。

が延期されれば、されるほど、山手線の工事着手

【答弁（建設課長）】

完成時期は平成29年度

に強く促進要請をし、ど

のような、アクションを行っていくのか。

【総括】

また山手線早期着手について、土地利用の中で新市街地も含め、庁舎候補地をその構想に組み入れると平成32年に庁舎完成の目処はたつのか。

一日も早い奥山田バイパスの全面開通と宇治田原山手線、早期着工、新庁舎構想は、寸分の狂いもないよう計画を進めていただき、住民の皆様が喜ぶ活力ある、暮しやすい町を、築いていただく事を強く願う。

【答弁（副町長）】

山手線は日々の渋滞、非常災害時の対策、新名

神へのアクセスから早期の整備が必要、新名神完

成に合わせた整備を要望

成に合わせた整備を要望



谷口重和
議員



使用開始が待たれる奥山田バイパス

28年度予算編成の考え方・重点施策は

【答】第5次総計の本格的スタートを切る予算



垣内秋弘
議員

【質問】

平成28年度の予算編成は第5次総合計画のスタート年、西谷町長就任後最終年で仕上げの年であり、公約の検証と課題への対応が求められるが、基本的な考え方と重点施策は。また、有効な財源の確保と財政の見通しは。

【答弁(町長)】

現下の課題をふまえ①未来に希望と責任②暮らしに安心安全③行政に信頼と真心の考えのもと、第5次総計の策定により新たな施策体系を構築し、本格スタートしたい。また、まちづくり戦略及び地域創生総合戦略に予算の重点化を図る。財政見通しは公債費が増加に転ずる見込みで厳しい状況は続く見通しである。



役場庁舎

地方版総合戦略の基本的取り組みは

【答】まち・ひと・しごと総合戦略を推進

【質問】

戦略案の基本目標①若者を呼び込み、働く場を確保。②元氣な宇治田原を育む。③地域で見守り、安心して暮らしやすいまち及び、不可能とも思える大変厳しい人口1万人の達成目標への施策は。

【答弁(町長)】

多くの人に知ってもらい、来てもらい、町内に住んでもらう。次に結婚し、子どもを産み、育てやすい環境を形成する。移住・定住政策をパッケージとして取り組み、人口1万人をめざす。

PPPを踏まえた農業政策は

【答】関係機関と連携を図り対応する

【質問】

PPPの影響で将来米農家が耕作放棄し荒廃農

地の増加が懸念されるが、町としての対応策は。

【答弁(産業振興課長)】

国の動きを注視し、農地中間管理機構と町農業

委員会と一層、連携を密にして取り組みたい。



荒廃農地

新教育長決意と課題への対応は

【答】首長との連携を一層密にする

【質問】

増田新教育長の決意と いじめ、虐待、不登校といった根の深い諸問題への対応策は。

じ町長との連携を密にして教育進展を図っていく。課題には専門家による対応、教職員及び保護者への助言等体制強化を図る。

【答弁(教育長)】

総合教育会議などを通

総計・戦略予算に生き残るための「魂」を

【答】本格的なスタートを切る予算にしたい



稲石 義一
議員

生涯学習体系の抜本見直しを

【答】施策体系の再構築の必要がある

【質問】

第5次総合計画・地域

創生総合戦略のスタート
年の予算編成に当たって
の基本的な考え方は。自
治体間競争に生き残るた
めの「魂」を入れた「理
事者の査定力」に期待。

【答弁(町長)】

第5次総合計画では、

本町が目指す将来像及び
4つの政策の柱並びに21
の施策目標を掲げ、地域
創生総合戦略とも同一の
方向性により策定を進め
ている。平成28年度は、

まさにその初年度として
新たな取り組みのスタート

を切るに相応しい予算に
していきたい。

内科以外の診療科目設置の展望は

【答】町内に無い診療科目の整備に向け調整中

【質問】

現在閉院中の町診療所
の再開見通しはどうか。また、内科以外の診

検討は行われていない。

また、内科以外の診療科
目設置の展望について

療科目(整形外科・眼科・
心療内科等)設置の展望
について、お伺いする。

は、町内に無い診療科目
の診療体制を整備する方
向で調整中であるが、公
表できる段階に至ってい
ない。

【答弁(健康長寿課長)】

関係医療機関と協議を

行ってきた中では、町診
療所の活用を前提とした

【質問】

少子高齢化の進展・人

学習の振興方策に係る中

口減少の進行など生涯学
習を取り巻く環境が変化
する中、18年間経過して
いる現行の生涯学習体系
を抜本的に見直すべき時
ではないか。

等を踏まえ「社会が人を
育み、人が社会を創る好
循環システム」の構築に
向け、現行の生涯学習体
系を見直してまいりた
い。

【答弁(教育長)】

社会情勢の変化、生涯



旧診療所



発行されている生涯学習情報誌

今後の保育施設の拡充と人材確保は

【答】様々な保育形態視野に拡充等図る

【質問】

国は、妊娠から出産、

保育所は、来年度も申

安全な保育の提供に努め

の導入が進んでいる。一

育児まで切れ目のない支

請者は全て入所できる見

【質問】

子ども達の読書意欲を

実施方法も様々。読書通

援を行う子育て世代包括

込み。病児保育を人所児

盛り上げ、その子ども達

帳の良さを通して子ども

支援センター（日本版ネ

童対象に「体調不良児

を中心にも取り組め

の頃から読書習慣の確

ウボラ）の全国展開を進

型」で28年度中の実施を

る、読書通帳の導入を是

立、また家族で目に見え

めるとしている。本町の

予定、保育所内に専用ス

非にと考えるが。

る読書の楽しみ方を支援

保育所入所状況と病児保

ペースと看護師1名を確

【答弁（教育課長）】

するひとつとして、検討

育等について、施設の拡

保する。様々な保育形態

公立図書館で読書通帳

していきたい。

充や人材確保への考え

も視野に保育施設・機能

【質問】

選挙権が18歳に引き下

は。

の拡充等を図り、安心・

【答弁（総務課長）】

本町でも中高生に向け



パパの子育て応援事業



山内実貴子
議員



「元気アップ教室」で介護予防

介護予防・認知症対策の今後は 【答】サポーター養成や認知症カフェ等検討

【質問】

介護予防に大切な

た取り組みをと考える

は、家にこもらないこ

が、今後の展開は。

と。「元気はつらつ若返

【答弁（健康長寿課長）】

り塾」や「元気アップ教

介護予防の元気アップ

室」など、さらに継続し

教室を通年で開催、認知

18歳選挙権、利便性の向上を 【答】中高生に効果的な啓発方法を検討

【質問】

選挙権が18歳に引き下

【答弁（総務課長）】

げられ、さらなる投票機

本町でも中高生に向け

会の創出や利便性の向上

たより効果的な啓発方法

が求められる。投票整理

について検討中。投票入

券に期日前投票の宣誓書

場券への宣誓書の印刷は

印刷も有効では。

有効な方法、近隣市町の

状況も把握し検討してい

お茶の京都、今後の取組み

【答】湯屋谷を交流拠点として位置付け

【質問】

平成27年4月に日本茶800年の歴史、散歩、京都山城として日本遺産の第1号に認定され、今後、宇治田原に多くの人が訪れると思われ緑茶発祥地宇治田原町には永谷

宗円生家があり、お茶の京都に生家の地元周辺の景観河川道路整備をすることで地域の活性化につながるのではないかと

【答 弁 (町長)】
本町では永谷宗円生家、茶宗神社、上大福

茶園の湯屋谷エリアを戦略的な交流拠点として位置付け、今年度湯屋谷地域と京都府・町で協議を行ってきており、今年度中に日本遺産関連案内

看板の一部の設置を予定しており、その他の事業についても今後連携して進めていく。



青山美義
議員

河川の管理状況は

【答】乗岩橋上下流において浚渫工事を実施

【質問】

田原川は府の管理河川であるが、提外地に雑草が繁茂する区間や土砂

堆積が進み浚渫を要する区間などが多く見られる。特に国道307号乗

岩橋から育英橋の間は未改修区間であり、雑草繁

茂や土砂堆積が多く見られる。こうした事象は、近年見られる豪雨時には、河川越流の原因の一つになると想定され、河川に隣

接する土地所有者にとつては大きな不安要素であるが、現実的には未対応

の区間や箇所が多くある。府は、河川管理者としてどの様に現況把握し対処されているのか問

【答 弁 (建設課長)】

年に一度、河川の状況把握のための調査を実施されており、この調査の中で、浚渫や修繕等の必要があると判断されたものについては、緊急性の高いところから対応いただいております。このようなどことから今年度事業として、乗岩橋上下流に

【要望】

一昨年の台風18号に伴う大雨により土砂が道路・河川・農地に大きな被害をもたらした後も河川が雑草で覆われていて昨年の被害を忘れていくような現状であるかのような現状であり、今後京都府に対し災害を風化する事なく、又、教訓として定期的に浚渫、雑草の除去を強くもとめる。



お茶の京都・永谷宗円生家



雑草が繁る河川

新庁舎より義務教育学校優先を

【答】目下の所、その考えはない



内田 文夫
議員

【質問】

「第5次まちづくり総合計画」及び「地方創生総合戦略計画」に於ける人口1万人の保持は現実離れをした予測数値で信憑性に苦しむ。選択と集中の観点から発想の転換

をし、人口動態によって

は変更の必要な新庁舎建設を一時凍結にしても、地方創生の結果を得べく義務教育学校の設置を最優先にする気はないか。

【答弁(町長)】

現在作業を進めている「第5次まちづくり総合計画」及び「地方創

生総合戦略計画」等の計画策定に基づいて各種施策を実施する。

9年間を見通した学習指導内容設定は【答】平成29年度には作成したい

【質問】

平成27年4月には具体化実践の段階と説明を受けた9年間を見通した学習指導内容は最短でいつ頃になるか。

【答弁(教育長)】

9年間を見通した学習指導内容は平成29年度には作成したい。教育環境による町外への転出は



維孝館門(田原小学校校門)

また、少子化の中で減組が避けられない事態を如何に受け止め、その解決に向けての対処方針を説明願いたい。教育環境に不満を感じ町外へ転出

する若い家族を皆無にするためにも、新教育委員会が発足した今、義務教育学校設立に躊躇することなく進んで頂くべきだ

【答弁(町長)】 9年間を見通した学習指導内容は平成29年度には作成したい。教育環境による町外への転出は

り組む覚悟の有無について所見を伺う。【答弁(教育長)】 9年間を見通した学習指導内容は平成29年度には作成したい。教育環境による町外への転出は



維孝館中学校

「宗円の郷」の観光振興は

【答】観光振興計画の中で検討



原田周一
議員

【質問】

本年4月に永谷宗円生家を中心とした茶畑・街並みが日本遺産の構成資産として認定された。本町の茶畑景観などを世界に発信する絶好の機会である。

【質問】

西ノ山集団茶園整備事業は平成18年度の事業開始から26年度までに国を初め、京都府・町からの補助金として、計6億4280万円が支出され、整備されてきた。「宗

【質問】

円の郷」西ノ山集団茶園の観光振興に対するロードマップはどの様になっているか。

【質問】

世界文化遺産登録については、京都府を初め近隣市町村が一致協力して取り組んでいる。現在策定中の観光振興計画の中で、意見を含め検討していきたい。

【質問】

お茶が健康飲料として、世界的に見直されている今日、緑茶発祥の地として、世界文化遺産登録への取り組みは、本町の観光振興のきっかけになる。観光が盛んになれば、新しく仕事も発生し

【質問】

また、仕事が発生すれば人口増にもつながる。新年度からでも予算執行を含めた責任体制の明確化を図る意味から、観光振興課または室を設置しては。観光振興への思いと専門性のある担当課の設置について、町長の見解は。

【答弁(町長)】

観光資源を活かしながら、町内外の来訪者との交流を深めていく取り組みにより町全体に賑わいが生まれ、「観光」による町づくりの推進につながる。観光を打ち出していく町組織については、今後まちづくりや住民の皆さんに利用しやすい役場づくり、これまで町議会からも指摘をいただいた事も踏まえ組織などについて検討している。



西ノ山集団茶園 (宗円の郷)



世界に発信 大看板

通学路の安全確保をどのように図るのか

【答】ドライバーへの啓発を続けていく



安本 修
議員

【質問】

郷の口鷲峰山線及び郷の口湯屋谷線は、生活道路であると同時に、小学生、中学生の通学路でもある。朝夕、国道307の渋滞を避け、抜け道にし、スピードを出して走

る車が多い。子ども達の

【答 弁 (建設課長)】

通学の安全をどのようにして図るのか、また大道寺から宇治田原小への通学路のように所どころ、いたんでいる箇所の改修をどうするのか。

通学路の安全を確保するため、ドライバーに対する啓発を続けている。歩道の設置は、難しいことから、グリーンベルトの設置や通学路のルート変更も選択肢のひとつと

【質問】

啓発や時間限定の通行規制等、いろいろな方策はあるが、速度規制(30キロ)が最も有効で基本的な手立てではないかと考える。この間、何回か「公安委員会と協議中」と言われてきたが、何が



改修が必要な通学路 (大道寺)

考えている。

また通学路の修繕は、地域からの要望、情報をいただいで、対処していきたい。

問題点なのか。子どもの安全の問題であり、早い対策が待たれている。これまで、町長は、再三「京都府との太いパイプを生かし」と言われてきているが、町長の声が京都府に届いていないのではない

【答 弁 (建設課長)】

速度規制(30キロ)については、再三にわたって公安委員会と協議を重ている。速度規制を実行するためには、道路の形状等クリアすべき課題もあり、公安委員会と引き続き協議し、全力で取り組んでいく。



立川通学路

研修報告

総務産業常任委員会

岡山県矢掛町

◎町並み景観整備事業

平成5年から19年にかけて、72軒の建物を外観等の整備をされた。

◎古民家再生事業

平成24年から26年にかけては、やかげ町町屋交流館(株)やかげ宿を設立、資本金1、

000万円。温泉施設

も併設している。事業

費は7億1,936万

円の内6億9,570

万円は有効な交付金を

活用している。

昔は宿場町で栄えてい

たが、現在は宿泊施設

も無いことから、(株)

やかげ家を設立、平成

27年を「観光元年」と

位置付けて歴史ある町

並みを活かして観光振

興に取り組もうとして

いる。

◎地方創生の取り組み

平成17年に郡家町、船

岡町、八東町が合併し

て誕生。平成27年7月

に厚生労働省から創生

官が派遣され、人口ビ

ジョン・総合戦略が策

定された。

現在18,000人の

人口を2020年で人

口を17,000人を

目標とする。

人口減少への対応、進

行の緩和施策。

◎国際交流

韓国横城郡と職員派

遣、スポーツ交流等行

われている。

◎婚活事業の取り組み

婚活事業も盛んに取り

総務産業常任委員会は、平成27年10月29～30日にかけて岡山県矢掛町へまちづくり、観光振興そして、鳥取県八頭町へは地方創生、国際交流について視察研修を実施した。

鳥取県八頭町



研修の様子



町屋の街並み

組まれており、平成22

年から東部4町合同で

実施され、主体は商工

会青年部。

八頭町は鳥取県でも山

間部に位置し、総合戦

略を見る中で将来の人

口推計は相当厳しいも

のがあると感じた。

研修報告

文教厚生常任委員会

三重県朝日町

●子育て支援策に取り組む

んだ背景

*大規模住宅開発により

急激な人口増となり、就学前の子どもの増加が見込まれる中、幼稚園・保育園の運営形態を見直し、互いの整合性を図りながら再編整備に取り組まれた。

育・保育内容

*園の目標

「豊かな心情をもち、自ら考え行動をしようとする力を育てる」



あさひ園

育み、表現力や創造性の芽生えを培っている。また、子育て支援の中で、ファミリー・サポート・センター事業を行っている。



児童館

この中には、病児・病後児、また、緊急の預かり保育や宿泊保育を近隣市町広域と連携して効率よく行われている。

学童保育については、急激な児童数増で一部空き家を利用し、民間委託しながら運営されている。

●本町にとっても、人口減少を食い止めるためにも子育て支援対策の充実が喫緊の課題である。

三重県玉城町

●ICTを活用した安

心・元気なまちづくりに

ついて取り組んだ背景

*65歳以上の高齢者は3,800人、高齢化の中で、大きな問題は高齢者の交通手段である。「福祉バス」はあつたが乗客は4、5人程度。「空気バス」と呼ばれていた。路線型のた

め点在する住宅地をカバーしきれず効率が悪い運行となっていた。

●オンデマンドバスシステム導入

*オンデマンドとは注文を受けてサービスをするという意味です。予約はセンターのコン



オペレーター室

ピューターで瞬時に整理され最適なバスの運行ルートが組み立てられます。オンデマンドバスの運行で元気な高齢者が増加している。

「コンビニ収納」「クレジット収納」等個人コードで一元管理し、登録型クレジットカード収納方式で実施されている。

ICT先進地の取り組みを行政全般の仕組みに結び付けるためにも、本町の特色を生かした施策を創出したい。

文教厚生常任委員会は平成27年11月5日～6日にかけ三重県朝日町へ「子育て対策」についてまた、同県玉城町へはICTを活用した安心・元気なまちづくりについて研修を実施した。

まきの たいいち
牧野 太一さん

成人式を迎えられた、実行委員長の牧野太一さんにインタビューしました。



Q. 成人式を迎えての感想は。

A. アツと言う間の20年でした。物心がついてからは、内容の濃い時間を持つことができたと思います。今日の久しぶりの再会に感謝し、目の前の案件に対して果敢に対処していきたい。

Q. 夢または将来挑戦したいことは。

A. 舞鶴高専で学んだ物作りの真髓を基に、日本だけでなく世界に向かって挑戦して、結果を出したいと考えています。

Q. 趣味は。

A. 趣味はバイクでの温泉巡りです。休日前に訪れる温泉に思いを馳せ、バイクを整備する時が楽しいです。

Q. 選挙権を与えられた感想は。

A. 18歳から選挙権が与えられますが、20歳としての自覚をもって、これからの日本を真摯に考える政党に投票したいと思います。

Q. 宇治田原町に望むことは。

A. 工業団地でアルバイトをした経験から感じるのですが、山手線の整備等、物流の環境整備を望みたいです。

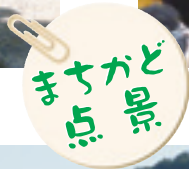




初詣で賑わう猿丸神社



町立保育所発表会



禪定寺婦人防火クラブ（出初式にて）

平成27年度第2回 議会報告会

『行政の取り組み』を、
チェック機関である議会の立場からご報告します。



日時：平成28年2月14日（日）午後2時～4時
場所：宇治田原町総合文化センター 3F 研修室1
内容：第1部 議会報告 9・12月議会について
第2部 意見交換

- ①マイナンバー制度
- ②お茶の京都
- ③新庁舎建設
- ④子育て支援対策
- ⑤その他

今号の表紙

平安騎馬隊による下校時の見守りシーンです。恐々なでさせてもらい「あったかい！」と笑顔になった子ども達でした。

編集後記

新年を記録的暖冬で迎え、各地の初詣が大勢の参拝客で賑わいました。今年の内申年ということ、禪定寺の猿丸神社では年末に申に纏まとわる社寺としてテレビ・ニュースでも取りあげられ、本殿前には各地からの老若男女が福を求めて長蛇の列が続きました。本町の観光振興策にも寄与していると感じました。今年、町制施行60周年の節目にあたります。住民の皆様には「読みたい！」と読んでいただける「議会だより」に取組みますのでよろしく願います。

広報編集委員 奥村